



主な内容

- 特集 1~2
みんなで防ごう!子どもの事故
 - トピックス 3~4
●あなたと大切な人の命を守るため日常生活で取り入れていただきたいこと など
 - すこやかハート北九州 5
 - 情報ステーション 6~11
- *最終ページは人口データと若松区の情報

関連情報は
34ページへ

～新型コロナウイルス感染防止のため～

- 3つの密(密閉、密集、密接)を避けましょう。
- 窓やドアを開け、小まめに換気をしましょう。

北九州市新型コロナウイルス相談ナビダイヤル
☎0570・093・567
F 522・8775

水の事故



熱中症



!! 思わぬ!! 子どもの事故

あなたは注意していますか?



窒息、誤飲



その他の事故

※子どもの事故…ここでは日常生活における不慮の事故(交通事故、自然災害を除く)のことを言います。

14歳以下「不慮の事故」による死亡原因の内訳

※平成29年度人口動態統計(厚生労働省)をもとに作成

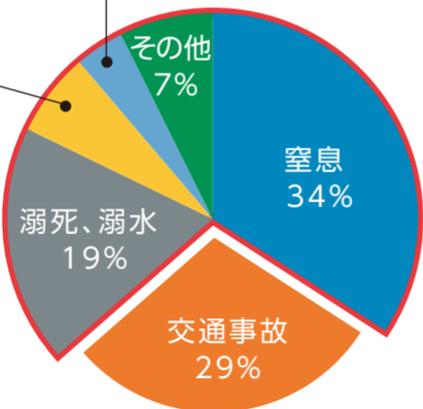
煙や火災など

4%

転落や転倒など

7%

死亡原因のうち、**交通事故以外が7割以上を占めています。**このような不慮の事故による死亡を防ぐためには対策と適切な手当を知ることが大切です。



2ページで詳しく紹介します

特集 みんなで防ごう!子どもの事故

発達段階にある子どもは、危険を察知する能力が十分とは言えません。海や山はもちろん、市街地や家庭内にも、思わぬ事故のリスクが隠れています。段差につまずいて転ぶなど、大人にとっては小さな事故でも、大きなダメージにつながるかねないのが子どもの事故の恐ろしさです。

本市における救急搬送データでも、転落や転倒、やけど、喉に物を詰まらせるといった多様な事例が報告されています。

こうした子どもの事故の多くは、周囲の大人がちよつとした注意を払うことで防げるものです。また、適切な応急手当を知っていれば、万一の際にも冷静に対応できます。

未来を担う子どもたちが健やかに育つことは、社会全体の願いです。保護者はもちろん、地域の皆さんも子どもの動きに注意を払い、子どもたちを事故から守りましょう。